

科目名	国語 I Japanese I			担当教員	山本ひとみ・坂本具償・長谷川隆		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120001	単位区分	履修単位
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。原則として週に1回漢字小テストを実施する。適宜、読書の時間を設ける。意見を書いたり発表したりしてもらいたいこともある。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	※ガイダンス(1) 1. 小説 [山本] (13) 「羅生門」＜小説＞			・展開に沿って、情景や心情の変化を読み取り、主題を考えることができる。 A-1			
	※ガイダンス(1) 2. 表現 [坂本・長谷川] (7) ア. 仮名づかい イ. 送り仮名 ウ. 文字 エ. 句読点 [前期中間試験] (2)			・正しい日本語で表現するための基礎的事項が理解できる。 D-1			
	※試験解説(1) 3. 評論と小説 [山本] (12) 「水の東西」＜評論＞ 「青が消える」＜小説＞			・論の展開に沿って、筆者の指摘する日本文化の特質に気付くことができる。（「水の東西」） ・文体や表現を味わうとともに、「僕」の心情をとらえることができる。（「青が消える」） A-1			
	※試験解説(1) 4. 表現(7) [坂本・長谷川] ア. 同音異義語 イ. 同訓異字 ウ. 類義語			・正しい日本語で表現するための基礎的事項が理解できる。 D-1			
	前期末試験						
	※試験解説(1) 5. 評論と詩 [山本] (13) 「コインは円形か」＜評論＞ 「I was born」＜詩＞			・文章中の根拠をもとにして筆者の主張をとらえることができる。（「コインは円形か」） ・詩句をイメージするとともに「僕」の気持ちを考えることができる。（「I was born」） A-1			
	※試験解説(1) 6. 古文 [坂本・長谷川] (7) 「児のそら寝」(説話) 古典文法 [後期中間試験] (2)			・古文を読む基礎を学び、説話の面白さを味わえる。（「児のそら寝」） ・古文を読むための基本的な古典文法を理解することができる。（古典文法） A-1			
	※試験解説(1) 7. 評論と短歌 [山本] (13) 「なぜ私たちは労働するのか」＜評論＞ 「その子二十 一 短歌十六首」＜短歌＞			・筆者の主張について自分の考えを持つことができる。（「なぜ私たちは労働するのか」） ・音やリズムを味わい、情景や心情を考えることができる。（「その子二十 一 短歌十六首」） A-1			
	※試験解説(1) 8. 古文 [坂本・長谷川] (6) 「竹取物語」			・物語の面白さを味わうことができる。（「竹取物語」） A-1			
	後期末試験						
	試験返却(1)						
	評価方法	1. 評価の内訳：漢字小テストの成績を10%、提出物（読書ノートを含む）を15%、定期試験を75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価への重みは、1・3・5・7をそれぞれ15%、2・4・6・8をそれぞれ10%とする。 3. 授業に対する取り組みが悪い者については減点することがある。					
履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ（1年）→国語Ⅱ（2年）→国語Ⅲ（3年）→文学特論Ⅰ（4年）→古典文学（専攻科2年）						
教材	教科書：精選国語総合 三省堂 中瀬正堯他 問題集：精選国語総合学習課題ノート 三省堂 『精選国語総合』編集委員会 漢字：級別漢字学習4級～2級（改訂常用漢字表対応版） 東京法令出版 赤羽靖他 表現：基礎からの国語表現の実践（改訂版） 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 辞書：電子辞書等（国語辞典 古語辞典 漢和辞典）						
備考	特になし						